

かなえ

第5号(平成24年4月1日)
医療法人社団鼎会 八柱三和クリニック
千葉県松戸市日暮1-16-2 日暮ビル2階 047-312-8830
<http://www.yabashirasawa-clinic.com>



今月号の「かなえ」から松戸在住の画家菅谷功さんに松戸のスケッチを描いていただくことになりました。スケッチの原画はクリニックのロビーに展示されています。

病床が認可されました。

3月30日に千葉県の医療整備課からうれしい知らせがありました。私たちの悲願であった病床がついに認められました。ひとえに患者さんからいただいた2万2千名にも及ぶ署名のおかげです。

これからは迷いなく病院建設に向けて邁進していくことができます。決して楽な道のりではありませんが、患者さんに応援していただけることが何よりの力になります。今後ともよろしくお願いします。

医療法人社団鼎会 理事長 斉藤 丈夫

ご挨拶 整形外科 小酒井治

昨年、平成23年4月より第2第4月曜日の午後2時半より整形外科外来を担当させていただいている小酒井治と申します。

昭和56年順天堂大学を卒業し、そのまま整形外科教室に入局、大学関連病院を回り、平成8年7月より現在の川崎大師駅前にある医療法人誠医会宮川病院に勤務しています。昨年3月に大学の高澤医局長よりこちらの病院への外勤を打診され、整形外科新規開診と言うこともあり、私に話が回ってきたと思いますが、月2回で良ければ、ということで来させて頂いています。その後大学からも増員され、整形外科外来も大分厚くなってきており、ご同慶の至りと言うところでしょう。何分午前中川崎で仕事をして、東松戸から新八柱まで来るので、アクセス特急でも時間がかかり、午後2時半診察開始とさせて貰っています。専門は整形外科一般とリウマチですが、特に手の外科、膝関節、脊椎診断は長年やっています。

さて、今でこそ膝関節注射のヒアルロン酸(アルツ、スベニール、ヒアロス等)は当たり前の治療ですが、約20年前、アルツが新発売された時から使っており、膝関節液生化学データの検討も学会発表させて頂き、ヒアルロン酸注射の効果は絶大で、人工関節置換術を回避できた症例は数多くあります。10年間で約200本のヒアルロン酸を打ち、今は月1回の注射で元気に歩いて来られる患者さんもおられ、遠慮は無用、40歳を超えたら決して早すぎることは無いと考えています。レントゲン上、膝関節の関節裂隙(特に内側)の狭小化が見られ、外側と比べ半分以上狭くなっていけば変形性関節症のレントゲン診断5段階の内、ステージ3aとなり、ヒアルロン酸の関節注射の適応となりますので、遠慮せずに注射を開始したほうが、望ましいと考えます。原則的に週1回で5本打ち、以後は隔週で痛みが取れるまで続けますが、月に1回くらいは油を注す意味でも注射を勧めています。

もう一つ外来で多いのが腰痛を主とする病態で、ぎっくり腰(腰椎捻挫)、変形性腰椎症、腰部脊柱管狭窄症が多く、特に脊柱管狭窄症はいわゆる間欠性跛行(長く歩けない、背筋を伸ばすと辛い)を主症状とし、血管性の間欠性跛行と鑑別診断を行わなければなりません。レントゲン、MRIで確認し、骨の変形、椎間板のヘルニアや膨隆、黄色靭帯の肥厚などにより、脊柱管つまり脊髄神経の通り道が圧迫され、狭くなり、足の症状が出てくるもので、椅子に座ったり、膝を曲げていけば楽になることで診断が可能で

す。治療は痛み止め、トリガーポイント注射、仙骨裂孔ブロックも有りますが、プロスタンディン(パルクス)、ビタミンB等の点滴治療も有効です。それでも効果が無く、最悪の場合は手術的に椎弓切除を大学病院などで行いますが、それは最後の、最後の手段です。

一般的に入院設備のある病院で勤務していると、腰椎圧迫骨折と大腿骨頸部、転子部骨折が入院の7~8割を占めていますが、クリニックの外来としては上に述べたような慢性疾患が殆どです。今後とも外来患者を増やして行くべく努力したいと思っています。まずはご挨拶として書かせていただきました。

心にいつも若葉マークを・・・ 看護師 木村絹子

今年も桜の季節をむかえ、もうすぐ新しい大きなランドセルを背負い、黄色い帽子姿の新1年生を目にする時期になりました。新生活の希望と不安でいっぱい顔を見ると、自分が看護師になったばかりの事をいつも思い出します。

初めて採血をした時の手の震えや心臓のドキドキ感、呼吸を整えるだけで大変でした。採血に成功した時は患者さんも一緒に喜んでくれたことは忘れられません。

受け持ち看護師として初めて患者さんに挨拶した時のドキドキ、良くなって退院された時の喜び、看護計画を先輩に駄目だしされ落ち込んだことなどなど。また、患者さんとの最後のお別れの場面では、看護師になったことの難しさと厳しさを痛感させられました。

毎年4月になり、「自分は看護師になって何年目かな・・・」と指折り数えます。いつの間にか両手で足りない年数になり、外見では新人→中堅→ベテラン？と言われる年になりました。今まで色んなことがありましたが、多くの患者さんに支えられ乗り越えられてきたと思います。病棟看護から外来看護となり5年目になりました。年齢は重ねても、看護師になった初心を忘れず、心にいつも若葉マークを持ち、ドキドキ感と緊張感、患者さんとの出会いを大切に看護師を続けていきたいと思っています。

高校のOB会で 医事課 穂近典子

先日、高校のバドミントン部のOB会がありました。昼の部は母校の体育館でのバドミントン大会。昼の部

は場所を居酒屋に移して食事会です。もちろん夜の部のみ参加しました。

乾杯！の後は恒例の近況報告。いつの間にか後輩たちは自分の子供のような年齢になっていました。

みな、勉強に仕事に頑張っている様子。

私たちは5期卒業生。バドミントン部がまだ同好会で、肩身の狭い時代。体育館も放課後は使わせてもらえません。お昼休みにお弁当を猛スピードで食べて、体育館へ一直線。どんなに急いで行っても、すでに真剣に練習している先輩たちがいました。お昼抜きかしら・・・創部の先輩との苦労話に花が咲きました。

毎年、おしゃべり専門の私たち。来年こそはバドミントン大会にも参加しよう！と体力アップを誓い合い

別れました。たくさんのパワーをもらい、やる気スイッチがちょっぴり入った夜でした。



《クリニックニュース》

三和さくら会

3月17日(土)午後3時より 三和さくら会総会がありました。

三和さくら会では、随時 新会員を募集しています。糖尿病療養中の方とご家族で、入会したい方は、受付にご案内と入会申込書があります。お気軽に声をおかけください。



第10回健康サービスデー

3月24日(土)午後3時より 第10回健康サービスデーが行われました。内科部長の渡辺聡枝医師による「ストップ！動脈硬化」は沢山の方にご参加いただき盛況でした。

おいでいただいた皆さん、ありがとうございました。

八柱三和クリニック診療医師担当表

		月	火	水	木	金	土
乳腺外科	午前	渡辺 修	渡辺 修	(手術)	渡辺 修	渡辺 修	渡辺 修
	午後	渡辺 修	渡辺 修		(手術)	渡辺 修	
整形外科	午前		幸島雄太		金子 晴香		早田浩一郎 (2, 4)
	午後	小酒井治 (2, 4)	幸島雄太		金子 晴香 (2, 4)		
内科 1	午前	斉藤丈夫	斉藤丈夫	斉藤丈夫	斉藤丈夫	斉藤丈夫	斉藤丈夫
	午後	斉藤丈夫		斉藤丈夫	(在宅)	斉藤丈夫	
内科 2	午前		渡辺聡枝	渡辺聡枝	渡辺聡枝	渡辺聡枝	杉崎良親
	午後		渡辺聡枝	渡辺聡枝	渡辺聡枝	(高林克日己)	
内科 3	午前	鈴木明子		鈴木隆弘	鈴木明子		高林克日己
	午後	鈴木明子	仲野総一郎		鈴木明子	鈴木明子	
胃カメラ	午前	渡辺英二郎		鈴木明子		鈴木明子	
大腸カメラ	午後	渡辺英二郎		鈴木明子		渡辺聡枝	

《お知らせ》

整形外科：金子晴香医師

糸魚川医師の後任として3月22日から診療しています。

第2、第4木曜日は終日。第1、第3、第5木曜日は午前のみとなります。

4月26日(木)は海外学会参加のため、休診とさせていただきます。

整形外科：早田浩一郎医師

新たに第2、第4土曜日の整形外科の診察が始まります。最初の診察日は4月14日です。

編集後記

桜の季節になりました。桜は日本人にとって、やはり特別な花と感じます。八柱には「日本の道百選」に選ばれた「桜通り」があります。今年のさくら祭りは(3/31~4/1)つぼみがほころび始めたばかりというところでしたが(そのうえすごい風でした。)これからしばらくお花見を楽しめそうです。咲き始めたばかりの花も、はらはらと散る桜も、それぞれに美しいものです。

病床について「さくら咲く！」結果をいただきました。(50床認可されました。)

目指してきた病床認可が現実になり、職員一同喜びと共に大きな使命に緊張しています。地域の方に望まれる病院運営ができるよう、今後とも皆様のご意見をお聞きしながら進めていきたいと思っています。

皆さんに支えられて、地域と一緒に作って行く「三和病院」のこれからにご期待下さい。

三和友の会(仮称)の会員を募集していく予定です。三和病院のサポーターになって病院を、共によりよいものにしていきませんか？募集要項が出来次第ご案内いたします。

どうぞよろしくお願ひいたします。総務：中野三代子